別紙様式6

令和3年度　　学 校 評 価 表　　（ 最終評価 ）　　東広島市立寺西小学校

学校教育目標	やさしく　かしこく　たくましく ～知・徳・体の調和のとれた児童の育成～	経営理念	○ミッション：確かな学力を身に付け、心豊かでたくましく、主体的に取り組む児童の育成 ○ビジョン：「学んでよかった」「来させてよかった」と信頼され期待される学校づくり ・児童が学びたくなる学校 ・教職員が誇りとやりがいをもてる学校 ・保護者や地域が通わせたくなる学校

評価計画							自己評価					学校関係者評価（学校運営協議会による評価）		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値 11月	達成値 3月	達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
確かな学力	1	確かな学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実現	○主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善【「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的にとらえた授業づくり】	○各教科における授業づくりの視点を取り入れた授業改善	・研究授業参観者による授業者の評価【肯定的回答】4.0以上（5段階評価）	4.0以上（5段階評価）	4.4	4.7	117.5%	4	研究会を機にポイントを明確にして国語科・算数科の授業改善を進めることが出来た。	A	・教員の努力が感じられる。今後は板書を構造的にする実践に力を入れ，より一層の授業改善に期待する。	・児童の実態・教職員の実態に基づいた研究教科の決定。 ・正答率40%未満の児童に対する個別の指導の充実。 ・教員の専門性を活かせる指導体制の整備
				○視点を意識して設定した学習活動	・研究授業参観者による児童の評価【肯定的評価】4.0以上（5段階評価）	4.0以上（5段階評価）	3.5	－	87.5%	3	教師の主観による評価ではあるが，授業改善が進むことで学習活動の充実が図られた。	A		
			○確かな学力の向上	○寺西「教えのスタイル」の定着 ・授業の基本スキル，学習規律等	・児童の授業満足度【肯定的回答】80%	80%	90	93.5	116.9%	－	授業改善が進むことで，児童の学習意欲向上が窺える。	A	・研究対象教科について成果が見られるため，他の教科への反映に期待する。 ・専科教員の配置等，専門性の高い教員による集中的な学力向上を図ることについても検討を進めたい。	
					・NRT・標準学力調査【正答率40%未満】10%以下	10%以下	7	－	142.8%	－	全体的には，全国平均値を上回る学年・教科が多いが、理科の基礎学力，中学年の基礎学力において課題が感じられる。	A		
				○寺西「学びのスタイル」の定着 ・ノートのとり方，家庭学習の仕方等	《前期》 ・国語・算数単元テスト平均【正答率】80%以上	10%以下	88	－	110.0%	－	全体的には概ね基礎学力の定着が実感できているが，正答率40%未満児童がどの学年にも一定数おり，個別指導が必要である。	A		
					《後期》 ・CRT・標準学力調査【正答率40%未満】10%以下	10%以下	－	6.2	161.3%	4	全体的には，全国平均値を上回る学年・教科が多いが、理科の基礎学力，中学年の基礎学力において課題が感じられる。	A		
豊かな心	2	自他を尊重し規範意識の高い心情や態度を育む	○寺西「5つの宝」を高いレベルで実行する児童の育成	○「時を守り、場を清め、礼を正す」を定着させる。	・児童アンケート【「5つの宝」全てが肯定的回答】80%以上	80%以上	82	82	102.5%	4	児童の意識向上が顕著である。	A	・生徒指導上の問題が減少することにより学校へ行くことを楽しみにする児童が増えることを重く受け止めたい。 ・挨拶については，目的と良いモデルを提示し，自発的に高めさせたい。	・「挨拶」，「ゲームとの向き合い方」を中心的取組に据えた地域・学校・保護者の協働的取組の充実
			○学校へ行くのが楽しいと思える児童の育成	○全教職員が児童の良さを認め，児童の自己肯定感を高める取組を行う。 ○「ありがとう」「ごめんなさい」を大切にする。	・児童アンケート【「学校へ行くのが楽しい」と回答した児童】80%	80%以上	83.9	87.9	109.9%	4	学校生活の安定が図られることにより，学校へ行くのが楽しいと感じる児童の割合が増加している。	A		
健やかな体の育成	3	健康の保持増進と体力の向上	○運動好きな児童を育てる	○運動の楽しさを実感させる体育科授業の実施。	・児童アンケート【「運動が好き」と回答した児童】90 %以上	90%以上	90	90.1	100.1%	4	環境整備を進めるとともに，体育科授業を改善することにより「運動好き」児童の割合増加が窺える。	A	・体育科授業で運動への苦手意識を持たないようにさせるよう場やルール等を工夫したい。 ・運動できる環境について真剣に協議を進めたい。	・体育科授業の充実 ・体育施設や教具等，運動への興味を促す環境の整備
			○体力の向上を図る	○外遊び，運動遊びの奨励。	・児童アンケート【日常的に外に出て遊ぶ児童】80%以上	80%以上	73.5	73.1	91.4%	3	教職員が児童と一緒に外に出て遊ぶ等励行を続けたが，寒くなるにつれて外遊びが減少傾向にある。	B		
信頼される学校づくり	4	安心・安全な学校づくりを推進し、地域・保護者から信頼され期待される学校	○ICTを活用した積極的な学校情報の発信	○学校だよりやホームページで積極的に情報発信する。	・HP更新【更新率】週1回	週1回以上	1.06	1.15	115.0%	4	古くなった画像等一新を図りつつあるが，日常の児童の様子の更新する頻度は更に高める必要がある。	A	・HPを見たいと思えるようにする工夫を講じたい。 ・ICT機器の積極的活用を推進したい。	・学校を拠点とした地域学校協働活動の充実 ・HP・各種便りの充実（量・質） ・参観日等保護者・地域が学校の様子を理解するための行事の積極的実施
			○地域とともにある学校づくり	○地域・保護者と協働した取組を推進する。	・学校評価アンケート【肯定的回答】90%以上	90%以上	92.6	92.9	103.2%	4	コロナ禍で地域学校協働活動が進めにくかったが，その基盤づくりが進み，地域や保護者化ら肯定的に捉えられた。	A		
		決められた時間内で仕事をする働き方を浸透させ、時間外在校時間等勤務削減に取り組む	○子供と向き合う時間の確保と時間外在校時間等勤務の削減	○働き方改革に関する地域・保護者への情報発信と教職員間での内容共有を図る。	・地域・保護者への情報発信【取組回数】年間1回以上	1回以上（年間）	3	3	300.0%	4	保護者アンケートの一新やPTA執行部だより発行等，保護者・地域・学校の役割を明確にする啓発活動が進んだ。	A	・学校参画意識を高めていけるよう発信を継続したい。	
				○業績評価書における、各教職員の取組みを共有する。	・業績評価書に係る評価【達成度】3以上	80%以上	90	91	113.8%	4	学校衛生委員会の協議結果を職員に毎回配付する等業務改善に資する取組により職員の意識変容が見られた。	A	・子供に向き合う時間を大切にした学校の取組に期待する。	

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価
4…目標を上回って達成　　3…目標どおりに達成
2…目標をやや下回って達成　　1…目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価（学校運営協議会による評価）
A…とても適切である　　B…概ね適切である
C…あまり適切でない　　D…全く適切でない
（N…判定できない）